

応用編課題③【名前： 】

--	--	--

主人公はどんな困難に打ち勝ちどのように成長するか

大切な人を亡くした悲しみで踏み止まっていた主人公が、悲しみだけではなかったことを思い出して先を向いていく。

主人公の属した集団は主人公の活躍によってどのように変化するか

主人公が前を向きたいという姿勢に、己の止まっていた時間も動かす。

ストーリー

この物語が始まるまでにどんな物語があってこの物語が始まったか（200文字）

主人公とヒロインは大学で出会い、お互いの興味のあることが特技だったためによく遊ぶ仲に。主人公は元々誰かと共にいたいという訳ではなく、一匹狼気質があった。けれど自分の知らないことを知っているヒロインに惹かれていった。ヒロインは危険なことはしてはいけないという意識から、スリルというのを知らない。主人公がそのスリルに付き合ってくれることに惹かれていった。そして恋人なるわけだが、主人公がツーリングに誘ったことで恋人は亡くなる。

ストーリー（800文字）

恋人の楓をバイクの後ろにのせていた時、事にあつて楓を亡くした大学生の修一。自分だけが生き残り、修一は後悔をしながら大学生活もままならない状態。

ある日、修一の前に亡くなったはずの楓が姿を現す。けれど楓は全ての記憶を失った幽霊となっていた。

修一は戸惑っている楓を保護し、楓の妹の明美や両親に楓を会わせる。けれど見えているのは明美だけ。明美は信じられずに距離をとる。

楓の友人の洋子に会わせ、記憶を取り戻す術を相談。靈感のある洋子は楓に対して心残りがある人がきっかけになると、妹の楓に対しての心残りを探ることを提案した。

楓が死ぬ前、明美は楓と受験のストレスで喧嘩をしていた。それを謝ることができないままの別れに後悔をしていた。

修一は楓がよく明美に何かできないかと考え、行動していたことを教える。それを知った明美はようやく楓に謝ることができた。すると楓は記憶を取り戻していくが、修一の記憶だけは戻らなかった。

修一は喜ぶが、洋子に楓は死んでいてこのまま残り続けるのはよくないことなのだと現実を知る。楓が成仏できないのは、亡くなった時に楓が修一に対して何か思いがあるからだ。

修一は事故で亡くなった楓が、生き残った自分に対して良くない感情を抱いたのかと落ち込む。だが明美に励まされ、修一は楓に事故当時のことや抱えていた思いを吐き出す。事故のことを謝られた楓は、霊体の自分を受け入れてくれた礼だけを言う。その後、楓は失踪した。

応用編課題③【名前： 】

後日、洋子は楓が失踪する前夜に、楓が事故当時に修一を庇って亡くなったことを話していたと教える。

謝られた時に全てを思いだした楓だが、自分が消えるのを見られたくなかったから失踪した。迷う修一に洋子は迎えにいけと背を押す。洋子も修一のことが好きだったが、楓を思う修一を応援しなくなった。

修一は楓に感謝と、その分までしっかり生きると話して楓は成仏した。そして再び大学へと通い始めるのだった。

講評

前回のプロットより、楓と明美の関係がスッキリとしました。後悔の内容も共感しやすいものになっています。

・幽霊や死者の噂が流行っているという設定があるので、主要キャラクター以外の幽霊も出してもいいかと思います。楓との比較対象になり、物語の幅が広がります。

・楓は消えるのを見られたくなかったようですが、理由を決めておきたいです。また、最終的には消える（成仏する）のを修一に見られることになります。楓がお別れをきちんとしたいと思えるような心境の変化を修一の行動によって表現したいです。